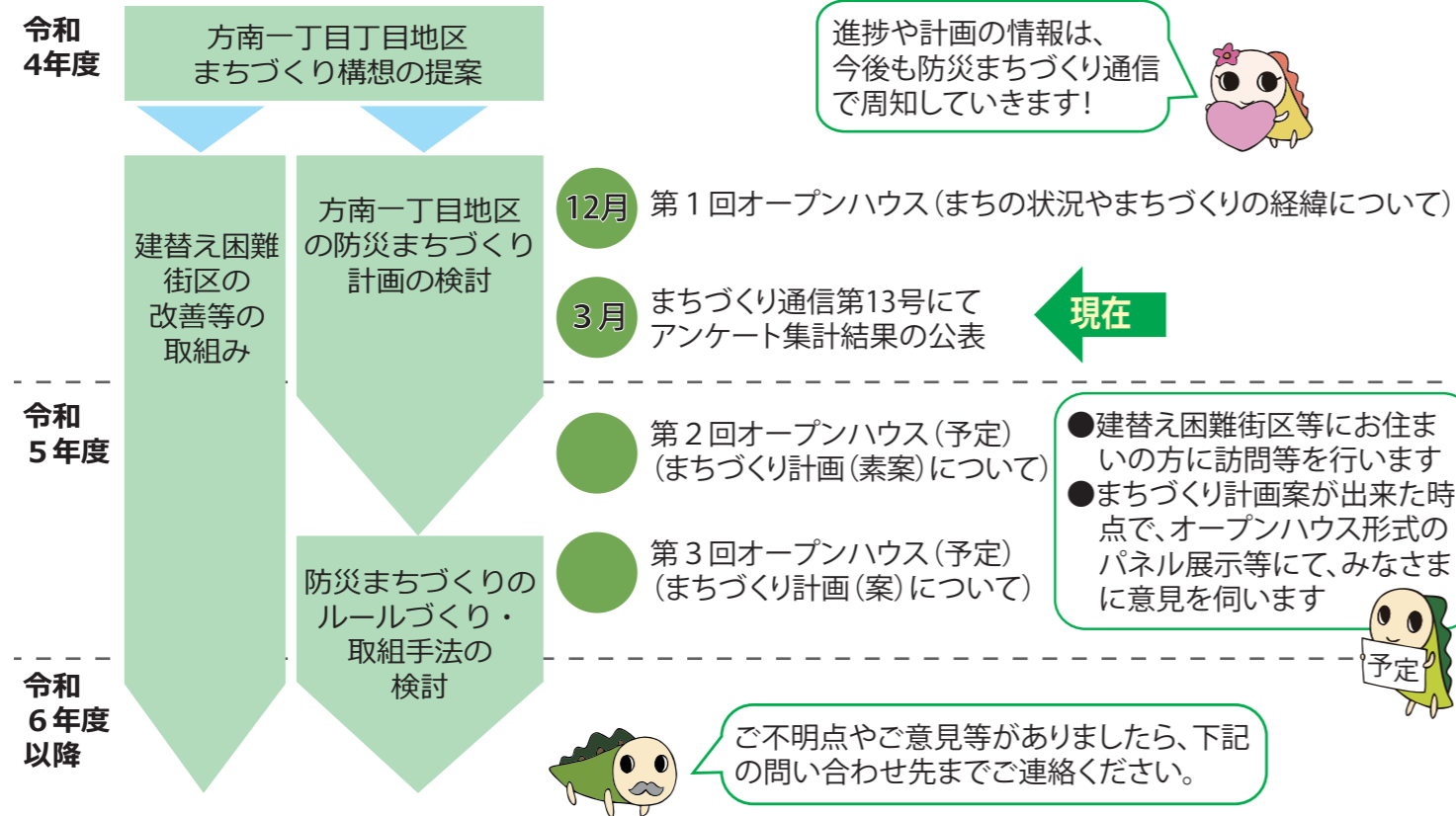


# 実現にむけた今後の展開



## お知らせ

### 専門家による無料相談会をご活用ください!

方南1丁目内に建築物や土地をお持ちの方を対象に、一級建築士、ファイナンシャルプランナーなどによる無料相談を行っております。ぜひ下記の問い合わせ先にお問い合わせください。



### 方南1丁目公園・広場用地等を探しています



方南1丁目内で、公園用地等の確保に取り組んでいます。地区内で土地の売却や転居等をお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記の問い合わせ先にご相談ください。



平成31年に防災機能をもつ公園として整備した馬橋ほんむら公園(高円寺南)



用地を取得して公園を整備し、令和5年4月1日開園予定(阿佐谷南地区)

【お問い合わせ】 杉並区都市整備部 市街地整備課 不燃化推進係  
電話：03-3312-2111 (内線) 3365・3366

## 方南一丁目地区

# 防災まちづくり通信

第13号

発行日：令和5年3月 発行：杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係 編集協力：(株)都市環境研究所



## 防災まちづくりアンケートへのご協力ありがとうございました



### オープンハウス(パネル展示)を開催しました

令和4年12月1～3日の3日間、方南図書館と方南区民集会所で、方南一丁目地区のまちの状況やまちづくりの経緯などをパネルで展示し、住民の皆様と意見交換するオープンハウスを開催しました。オープンハウスには、3日間で66名の来場があり、展示内容を見ながらの意見交換や、「方南一丁目地区防災まちづくり通信 第12号」のアンケートに回答をしていただきました。



方南区民集会所(右上写真)、方南図書館(左下写真)でのオープンハウスの様子

### オープンハウスでいただいた意見

図書館の前の防災生活道路は、小学校の通学路になっているにも関わらず、トラックや配送の車がスピードを出していて危ない。

道路が広くなると、路上駐車が多くなるので、道幅は6mが良い。小学校付近は路上駐車が多く、急に車が動き出して危ない。

隣棟間隔のルールは必要。近所の家が隣棟間隔が狭すぎて、草むしりができない状況。

狭小で古い建物が密集していて、急な坂道も多く、何かあったら消防車が入って行けないのではないかと心配している。

阪神淡路大震災のようなことが起こった後は、どのようなまちづくりになるのか?

家の近くに消火器があるが、使い方がわからない。

地区の中央は、行き止まりの道が多くて迷子になる。



### 貴重なご意見ありがとうございました!

オープンハウスでは、これまで意見を聞く機会が少なかった子育て世代の方の意見も多くいただきました。これからのまちづくりの参考にさせていただきます。

### 防災まちづくりアンケートに155件の回答がありました

「方南一丁目地区防災まちづくり通信 第12号」のアンケートは、オープンハウスや郵送、WEBによる回答に加えて、防災生活道路沿道のお宅への戸別訪問により、合わせて155件の回答がありました。その集計結果を次ページでご報告します。

アンケートの詳細は、区のホームページもご覧ください



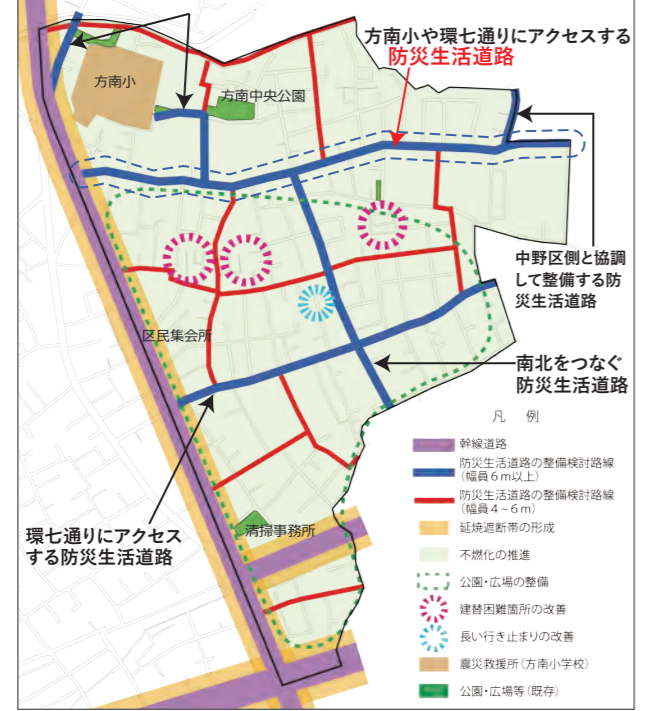
杉並区HP  
方南一丁目地区のまちづくり  
QRコード

# 方南一丁目地区の防災まちづくりアンケート結果

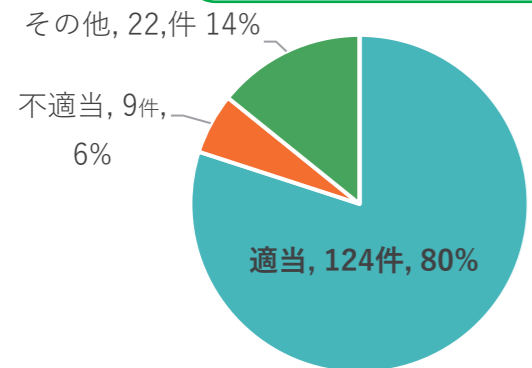
**問1** 防災生活道路(6m以上)※の選定について、どう思いますか。  
(下の図の青い道路)

※地震時の緊急車両の通行や、円滑な避難ができる骨格的な道路として、幅員6m以上の道路空間の確保と、沿道の建物の重点的な耐震・不燃化を進めます。

防災まちづくりの検討案(令和4年10月時点)



「適当」という回答が80%でした。  
「その他」には、「わからない」や「判断できない」等の意見がありました



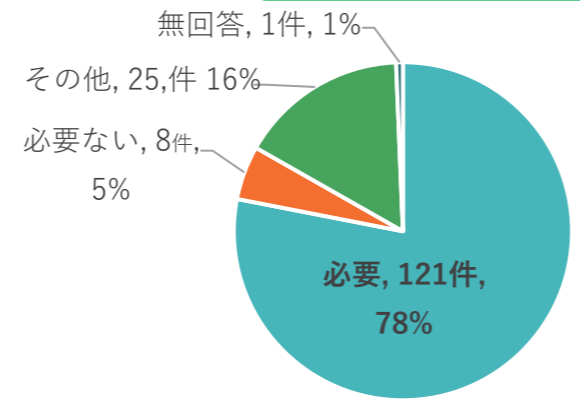
<回答の理由やその他の意見>  
 ・環七に通ずる防災生活道路は少なくとも6m以上はほしい  
 ・早期実現のため6m設定は必要だが最終的に9mの計画は必須  
 ・小学校の入口を増やすべき(例えば、北側の通路や南側の防災生活道路から入れるように)

**問2** 日常のうるおいを高め、安全で快適なまちにするため、建物の建て方などのルールを定めることができます。  
このようなルールを定めることについてどう思いますか。

建物の建て方などのルールの例

- 地震で倒れやすいブロック塀等を禁止するなどの垣・柵のルール
- 延焼の抑制や住環境の確保のため、住宅地の建物の隣棟間隔を確保するルール
- 環七通り・甲州街道の沿道や商店街で、建物の建て詰まりを防ぐため、敷地面積の最低限度を定めるルール  
(すでに住宅地には60㎡以上というルールあり)
- 環七通り・甲州街道の沿道や商店街で、風俗営業の立地を制限するルール

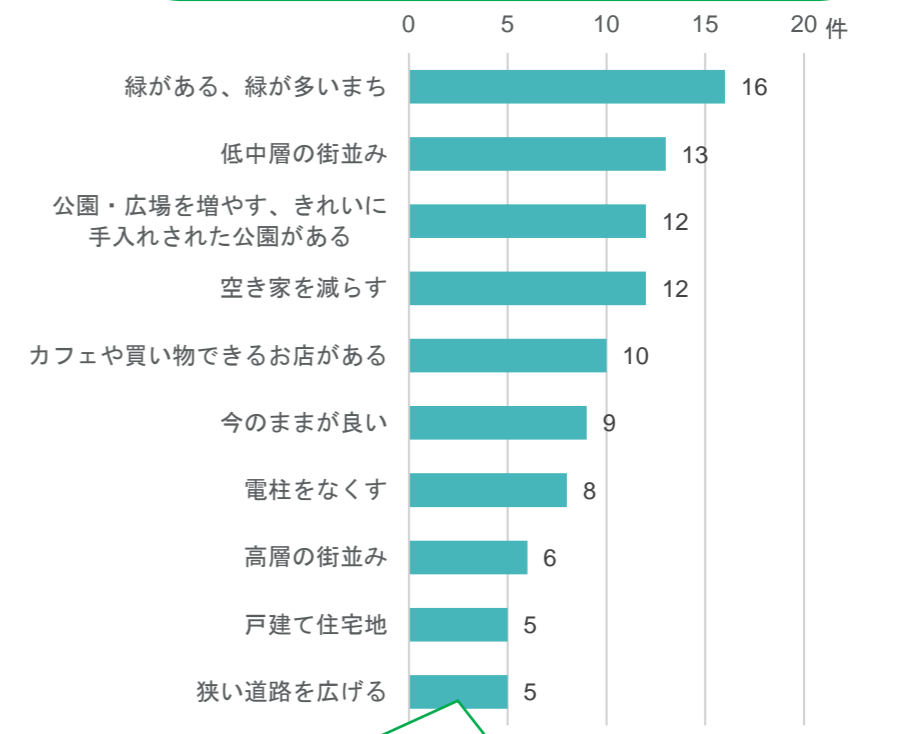
「必要」という回答が78%でした。  
「その他」には、「わからない」や「敷地が狭い」「難しいと思う」等の意見がありました。



<回答の理由やその他の意見>  
 ・原則必要。ブロック塀を禁止の場合はペットやタバコのマナー条例もないとトラブルが深刻化する  
 ・ブロック塀の一律禁止ではなく、まず危険性の理解促進を  
 ・無電柱化が優先ではないか  
 ・風俗営業制限は必要、他のものも含めてルールがあると安心

**問3** 本地区は、環七通りと甲州街道沿い以外は、低中層の戸建てと集合住宅が中心ですが、将来どのような街並みが望ましいですか。

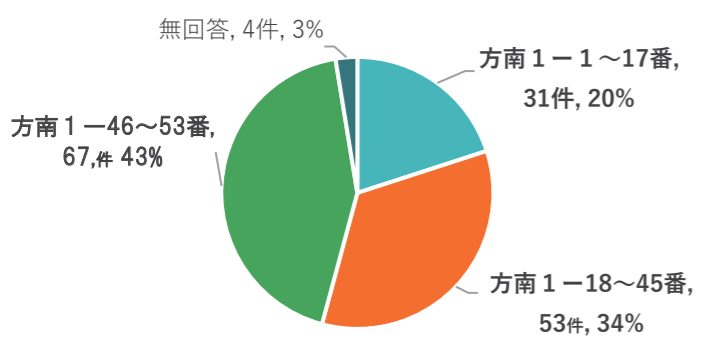
「緑」や「公園・広場」について書いている回答が多くありました。  
街並みについては、「低中層」の方が「高層」より多く、「低中層」と「戸建て」を合わせると18件になります。



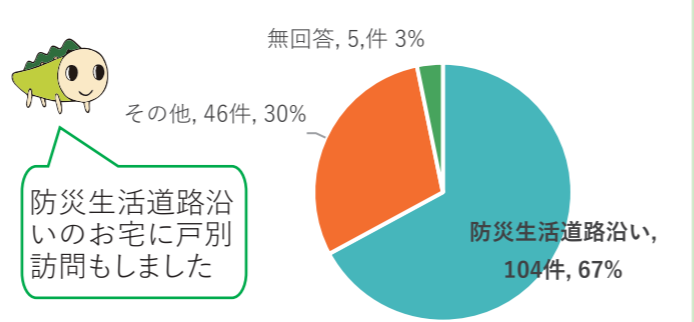
道路については、自由記述意見と合わせて見ると、「拡げて安全に」という意見と、「拡げると抜け道利用や路上駐車が増えるのでは」と心配する意見と両方ありました。

<回答の理由やその他の意見>  
 ・きれいな街になれば防犯にも効果が出ると思う  
 ・対話を重ねて理解を得て、高層化と道路拡張や、ゆとりのある防災まちづくりを  
 ・「建替え困難な場所」は、福祉関係の専門家もプロジェクトに加わったほうが良い  
 ・区が保有する財産(図書館、区営住宅など)や道路から整備を進める方が速やかな防災まちづくりにつながると思う

**問4** お住まいや土地・建物をお持ちの場所は、どこですか。

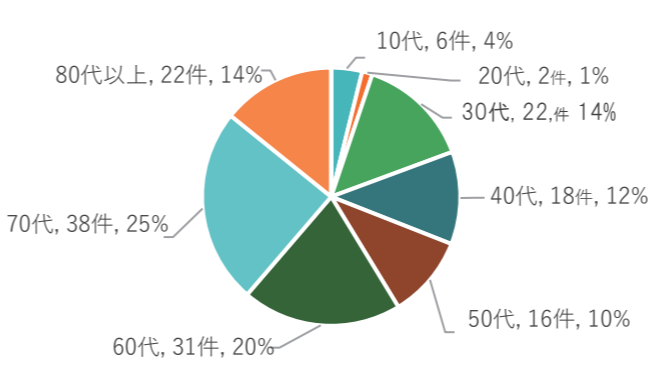


**問5** 問4でお答えの場所は防災生活道路沿いですか。



防災生活道路沿いにお住まいの皆様には、今後も説明会や戸別訪問等を行い、意見交換を行う予定です。

**問6** 年齢を教えてください。



**アンケート結果を受けて**

- 回答いただいた方が多く、防災生活道路の選定について賛同しており、建物の建て方のルールについても必要だと考えていることが分かりました。
- 一方で慎重な意見もあるため、今後も皆様の意見をお聞きしながら防災まちづくりを進めていきます。
- 今後もニュースやオープンハウスの実施など、地域の皆様への周知の徹底に取り組みます。